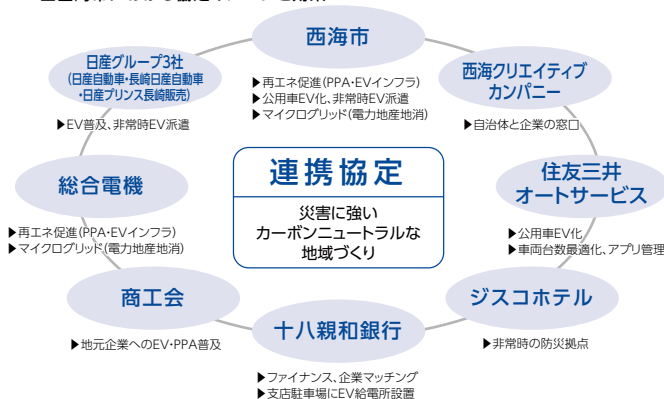


十八親和銀行による企業マッチングを契機に 西海市との10者間連携協定を締結

電気自動車及び再生可能エネルギーを核とした災害に強い
カーボンニュートラルな地域づくりに係る連携協定

■西海市における協定イメージと効果



長崎県の西彼杵半島の北部に位置する西海市は、美しい海岸線など優れた自然景観を有している地域です。

美しい景観の西海市ですが、停電が多いという課題を抱えていました。そこで十八親和銀行は、株式会社西海クリエイティブカンパニー、住友三井オートサービス株式会社とともに、業務効率化を目的とした公用車リースの提案を行い、EVを活用した「停電に強いまちづ

くり」への取組みを進めてきました。西海市がEV導入を検討していく中で、脱炭素を目指した西海市のカーボンニュートラルへの取組みにも繋がり、長崎県の多くの企業が参画しました。

こうした取組みの結果、2022年1月28日(金)出島メッセ長崎において、10者間による「電気自動車及び再生可能エネルギーを核とした災害に強いカーボンニュートラルな地域づくりに係る連携協定」が締結されました。

本協定において十八親和銀行は、地域金融機関として金融面での下支えの他、FFGネットワークを活用した企業マッチングを行い、地域課題の解決に取り組んでいます。今後も、地域金融機関としての役割を果たすため、地域企業のEV普及やPPA事業への取組みの支援を継続しながら、関係団体との連携を更に強め、西海市とカーボンニュートラルな地域づくりを目指します。



十八親和銀行 八起専務の挨拶



連携協定調印式



EV給電デモの様子